

2024年6月 ゴルフの精神を引き継ぎたい

ゴルフ場に関わっている以上、ゴルフの精神に恥じない日々を送りたいと心掛けています。何事にも嘘がないゴルフの精神は、自分にとって誠に居心地の良い場所でもあります。この歳にしてようやくそんな気持ちで居られる様になりました。

我々の大先輩でJGA規則委員長としてゴルフ・ルールに深い造詣のあった大谷光明氏は『法律は悪人が存在するものとして作られているが、ゴルフ・ルールは故意に不正を犯すプレーヤーはいないという前提で作られている』と話してみました。

誰かが見ても、見ていなくても変わらないスタンスで、己に嘘をつかないという事ですがゴルフ場の運営についても『メンバーさんの為になる事が正しいスタンスである』と一本筋を通す事で、その時々の判断がし易かった様に思われます。

会員の皆様が大きな期待をもって、足を運んでくださるゴルフ場にする事こそが『一番の贈り物』と考えています。

施設は着実に改修を進めて参りましたが、コースもクラブハウスも完成度はまだまだ及第点と言ったところでしょうか。

サービス面ではお客様の『ありがとう』の声に支えられ、田舎のサービスの場所ですがお客様の満足とご納得が如何なるものかを分かっている社員がたくさんいてくれます。

怒られる職場より誉められる職場の方が、楽しいに決まっています。

『もっとお客様に誉められたい』の一心が、我々の日々の糧となっています。

これでいいと思ったら成長は止まります。

これからもさらに期待を持って足を運んで頂ける場所にする為に、高見を目指します。



コースの良さを引き出す管理を心がけています

絶景のロケーションにダイナミックなコースが作られ、手造りのグリーンはどのプレーヤーにも同じ難題を与えています。

『大らかにドライバーを放ち、繊細かつ冷静にグリーンを読み切る力を求めているコースです』まさにゴルフ本来の醍醐味を各ホールで味わえる設計となっています。

それを生かすグリーンにする重要な管理の一つとして、芝目を極力無くす作業をしています。以前のグリーンは上から速く、下から重いと言われていました。

芝は育つ環境によって、光や水や風などによって芝目が出来ます。

その芝目がある事で傾斜以上に転がってしまうグリーンに、[バーチカル・カット【垂直に芝に切り込みを入れ、芝を間引きする事で新芽の発根を促進する作業】](#)を行っています。

春から2度行いました。カットする方向を徐々に変えながら、みんな天に向かって立っている芝を作ります。それによって傾斜通りの転がりが出るグリーンとなります。

